

「弘大地理」20号の刊行にあたって

水 野 裕

「弘大地理」は昨年3月に定年で退官された横山弘先生の“大学生生活の総括としての卒業論文を、卒業生ならびに広く地理学研究者に見てもらい、批判をあおぐために、せめてその要旨だけでも公刊したい”との御発案で20年前に創刊号が刊行されました。以来、毎年着実に刊行され、ついに20号の発刊を迎えたわけです。「弘大地理」がここまで継続できたのは、ひとえに横山先生の熱心な御努力のお蔭であることは云うまでもありません。

横山先生の御発案で刊行されたこの「弘大地理」は、その後、学内の地理学関係教官や卒業生からも寄稿を受け、卒業論文要旨だけでなく、徐々に幅の広い内容のある刊行物として生長してきました。

横山先生は常々、「弘大地理」には将来卒業論文のほかに、もっともっと卒業生の寄稿があり、「弘大地理」を通して先輩と後輩のつながりをより綿密にしてゆくことが必要であるとのべておられました。今後はこの横山先生の御意向を尊重し、ますます内容のあるものにすることが、この「弘大地理」を引きついで我々教官および卒業生各位の責務と考えております。この20号を契機として、教育現場での経験を生かした教育実践報告など、地理教育に関する研究成果が、卒業生各位から数多く寄稿されることを念願する次第です。